

平成30年度川崎北高等学校「授業改善K-2プラン」

・英検準2級以上相当の英語力をめざす ・使える英語の習得を高校卒業後も継続する態度を養う ・英語の学習スタイルを確立し、それを他教科にも応用する

求められる4つの能力<英検Can-Doリスト準2級より>

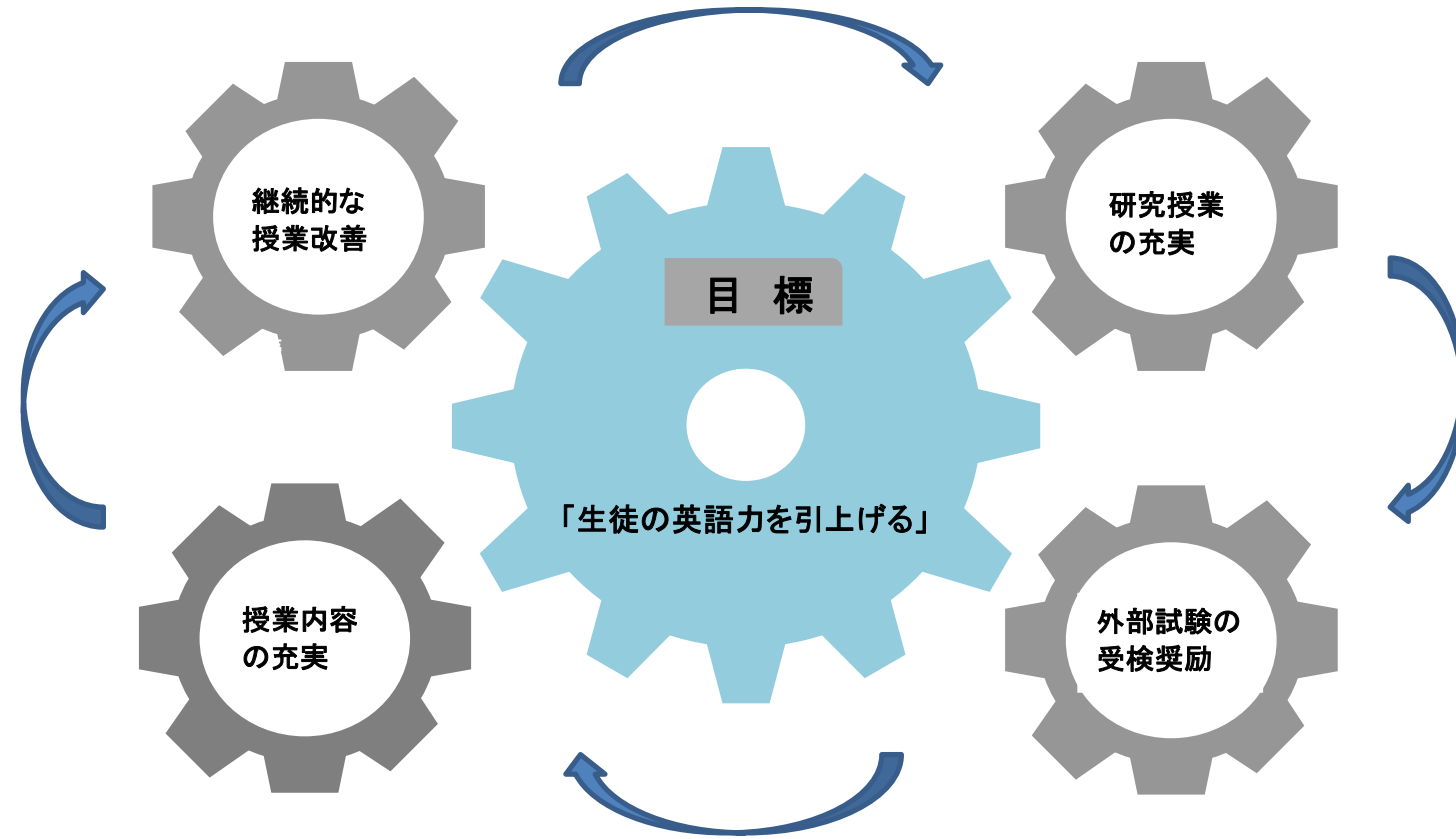
読む 簡単な説明文を理解したり、図や表から情報を得ることができる。

話す 日常生活で簡単な用を足したり、興味・関心のあることについて自分の考えを述べるができる。

聞く 日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。

書く 興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。

【 月別計画 】



4	・校長より新着任者に「K-2プラン」の説明 ・県立総合教育センター及び関係高等学校に協力依頼 ・11月の研究授業発表者を決定
5	・第1回授業観察を実施し、第2回に向けた具体的改善点の指導と助言を行う
6	・県内・外の優れた英語授業実践校の調査及び見学・本校への講師の派遣の依頼
7	・英語指導に関する研修会・セミナーへの英語教員の派遣
9	・始業式で英検上位級合格者を表彰 ・研究授業発表者2名の授業を教育センターの指導主事に見ていただき、具体的改善点等の指導を受ける ・県内・外の優れた英語授業実践校の見学
10	・第2回授業観察を実施し、1回目指導内容の改善状況の確認 ・教育センターと近隣中学校に研究指導案の送付 ・他校の優秀教員による模擬授業の実施
11	・研究授業の実施及び研究協議(指導主事、中学校教員、他校優秀教員を交えて)
12	・終業式で英検上位級合格者を表彰 ・GTECの実施
1	・GTECの結果の検証と今後へのフィードバック
3	・終業式で英検上位級合格者を表彰

改善に向けた4つの手立て

A <継続的な授業改善>

- スタディーサポート・GTECを活用し、その結果を教科全体で検証し、フィードバックする
 - ALTの協力も得ながら、GTECの過去問を活用してリスニング・スピーキング力向上をはかる
 - 結果の検証は、ベネッセの担当者と管理職を交えて教科全体で行う
 - すぐに取組むべき課題と中・長期的に取組む課題を分けて議論する
 - 経年での検証が可能なものは、個々の課題の原因についても考察する
- センターの指導主事、及び他校優秀教員にアドバイザーを依頼する
 - 複数回来校してもらい、具体的な改善点を指摘してもらう

B <授業内容の充実>

- 県内・外の高校で、優れた英語教育を実践している学校に出張し、本校の指導に生かす
 - 優れた授業展開の具体的なアイデアを収集して、教科会で共有する
 - 効果的な教材や、使用方法等についての情報も収集し、教科会で共有する

C <研究授業の充実>

- 県内の指導力に優れた教員を招聘し、模擬授業を実施する
 - 本校英語科職員を生徒に見立てての模擬授業を行い、その後、質疑応答を行う。
 - 本校が11月に行う研究授業にも招聘し、助言を依頼する
- 研究授業週間に本校英語科教員2名が研究授業を行う
 - 若手教員1名とベテラン教員1名が研究授業を担当する(新採用者等を除く)
 - 県立総合教育センターの指導主事に当該教員2名の授業を見ていただき、その後の研究協議で11月までの具体的な改善点を指摘してもらい、指摘事項を教科全体で共有する
 - 11月の研究授業には、センター指導主事と他校優秀教員にも来校していただき助言を受ける

D <外部試験の受検奨励>

- 英検等の外部試験の受検を積極的に生徒に奨励する
 - 放課後や長期休業等の機会を捉えて、受検対策の講習を行う
 - 上位級合格者は終業式などの機会を捉えて表彰する